

唐桶溜が「ため池百選」に

3月25日、農林水産省が45都道府県から選ぶ「ため池百選」に唐桶溜(東水沼)が選ばれました。

唐桶溜は、農業用のため池としての歴史と、隣接する宗山公園とが一体となった美しい景観を持ち、豊かな自然に囲まれた多様な生物の生息空間となつています。また白鳥の飛来地としても知られています。現在も農業用として利用され、地元地区委員会が水の管理をしています。週1回地元ボランティアが清掃活動を行い、ため池周辺には遊歩道や東屋が設置され、散策のほか東屋でのバーベキュー(休日のみ)なども可能です。また宗山公園には滑り台などの遊具もあり、親子でレジャーを楽しむことができます。

このようなことが総合的に評価され、百選に選出されました。



新任駐在さん紹介

今春の定期人事異動により、4月1日から祖母井駐在所に鈴木隆博警部補、西水沼駐在所に塩生博康巡査が着任しました。

鈴木警部補は、地域の皆さんに親しまれる駐在所にしたいと考えています。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。塩生巡査は「地域に慣れ親しみ、住民の皆さんと安心安全な町づくりを行いたいと思います」と抱負を語られました。



▲鈴木隆博警部補



▲塩生博康巡査



▲認定を受けた皆さん



▲家族経営協定を締結した皆さん

認定農業者認定書交付式・家族経営協定締結式

3月19日、役場大会議室で認定農業者認定書交付式が行われ、16人が認定を受けました。また同日、家族経営協定締結式も行われ、4組が新たに協定を締結、1組が再締結しました。

これにより、現在町内では271人の認定農業者と60組の協定調印家族が活躍しています。

暴力団排除へ真岡警察署と合意書締結

3月26日、役場で「芳賀町建設工事等からの暴力団員等の排除に関する合意書締結式」が行われました。

豊田町長と真岡警察署大貫雅宏署長が合意書に署名押印し、合意書が締結されました。

これにより、町が発注する建設工事や業務委託などから暴力団関係者の排除を徹底するための連携が強化されました。



人権擁護委員に

横田さん再委嘱

4月1日付で、法務大臣から人権擁護委員に横田雅子さん(祖母井)が再委嘱されました。

横田さんは、今期で3期目となります。これからも月1回の定例人権相談のほか、地域社会の中に人権尊重の考え方を根付かせるための啓発や町の各種人権擁護活動に尽力されます。



芳志戸橋が完成



3月31日、町道机・金山線の開通式が行われました。開通式には押久保副町長のほか地元町議会議員、自治会長、芳志戸駐在が出席し、安全祈願とテープカットが行われました。

この道路は、平成10年から工事が始まり、今回の芳志戸橋の完成で全線開通となりました。これにより主要地方道真岡・那須烏山線と県道石末・真岡線を結ぶ重要な幹線町道となります。

ボランティア連絡協議会総会で

歯ブラシ、タオル、固形石けん寄付

3月4日、農業者トレーニングセンターで芳賀町ボランティア連絡協議会(黒崎善兵衛会長)の総会と「フィリピン医療を支える会」の団長を務める、せきぐち歯科医院の関口敬人医師による講演が行われました。



また、1月から寄付を呼びかけて集まった車1台分ほどの歯ブラシ・タオル・固形石けんが、町社会福祉協議会の青山完治事務局長から関口医師に託されました。寄付された品物は、フィリピンでの医療ボランティアで活用される予定です。